2．金融商品の時価等に関する事項

平成23年３月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額	時　価	差　額
⑴信託資産	5,977,178	5,977,178	—
⑵投資	3,981,877	3,981,877	—
⑶未払給付費	(155,651)	(155,651)	—

※負債に計上されているものについては、(　) で示している。

㈱　金融商品の時価の算定方法

⑴信託資産、及び⑵投資

信託資産及び投資のうち、株式は取引所等の価格、債券は店頭取引価格、その他は受託金融機関から提示された価格によっている。

⑶未払給付費

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

貸　借　対　照　表　の　要　旨

（厚生年金基金加算年金経理）　（平成23年３月31日現在）　（単位：百万円）

資　産　勘　定		負　債　勘　定	
［1．純資産］	**38,277**	**［1．純資産］**	**194**
流　動　資　産	**1,528**	**流　動　負　債**	**23**
預　貯　金	156	未払運用報酬等	23
未収受換金	919	未払コンサルティング料	0
未収返納金	0	預　り　金	0
未収支払保証給付金	453	**支　払　備　金**	**170**
固　定　資　産	**36,749**	未払給付費	168
信　託　資　産	22,056	未払移換金	2
投　資	14,693	**［2．負債の数理的評価］**	**42,610**
［2．資産の数理的評価］	—	**給　付　債　務**	**42,610**
［3．基本金］	**4,527**	数理債務	42,610
基　本　金	**4,527**	**［3．基本金］**	—
繰越不足金	3,435		
当年度不足金	1,092		
計	**42,804**	**計**	**42,804**

注）百万円未満四捨五入のため計が一部不一致の場合がある。

損　益　計　算　書　の　要　旨

（厚生年金基金加算年金経理）（自　平成22年４月１日　至　平成23年３月31日）（単位：百万円）

費　用　勘　定		収　益　勘　定	
［1．経常収支］	**1,155**	**［1．経常収支］**	**5,545**
給　付　費	995	受　換　金	5,427
移　換　金	34	運用収益	118
運用報酬等	40	**［2．特別収支］**	**581**
コンサルティング料	0	特別収入	0
運用損失	85	受　入　金	581
［2．特別収支］	**2**	支払保証経理からの受入金	581
特別支出	2	**［3．数理的評価の変動］**	—
［3．数理的評価の変動］	**6,061**	**［4．基本金及び総合計］**	**1,092**
給付債務増加額	6,061	当年度不足金	1,092
数理債務増加額	6,061		
［4．基本金及び総合計］	—		
計	**7,217**	**計**	**7,217**

注）百万円未満四捨五入のため計が一部不一致の場合がある。

重要な会計方針

１．信託資産及び投資の評価基準及び評価方法

時価法によっている。

２．数理債務の算定にあたっては企業年金連合会規約第38条第２項に定める死亡率をベースとした現価率を用いている。

３．消費税等の処理方法

税込方式によっている。

注記事項

（金融商品関係）

１．金融商品の状況に関する事項

厚生年金基金基本年金経理と同様である。

２．金融商品の時価等に関する事項

平成23年３月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額	時　価	差　額
⑴未収受換金	919	919	—
⑵信託資産	22,056	22,056	—
⑶投資	14,693	14,693	—

（注１）金融商品の時価の算定方法

⑴未収受換金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

⑵信託資産、及び⑶投資

信託資産及び投資のうち、株式は取引所等の価格、債券は店頭取引価格、その他は受託金融機関から提示された価格によっている。

（注２）金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	一年以内
⑴未収受換金	919